

## 質問回答書

(業務名称) ウクライナ国緊急復旧・復興プロジェクト向け機材 (ヒートポンプ)  
 (公告/公示日: 2023年12月1日/公告番号: 23a00806) について、以下のとおり回答いたします。

2023/12/11

独立行政法人国際協力機構  
 調達・派遣業務部長 (契約担当)

通番	該当頁	該当項目	質問	回答
1	P. 1	3 競争入札に付する事項	現地調達を想定しているとありますが、入札金額にはVATを含めるという理解で宜しいでしょうか。	今回、現地調達機材については、VAT込みの金額で応札してください。
2	P. 1	入札説明書 3. 競争入札に付する事項	本案件は、現地調達想定と記載がございますが、消費税(VAT)は免税になりますでしょうか？	上記1. に同じです。
3	P. 1, P. 23-25	入札説明書 3. 競争入札に付する事項(5)～(7) 別紙 サイト別 想定派遣人数、作業日数	別紙に記載されている想定作業日数を入札会の翌日契約日にし、計算しますとP. 11に記載の「業務完了期限:2024年1月31日」を超えてしまいます。複数の工事を並行しながら工事を進めていく、という理解であっておりますでしょうか？	今回の据え付け関連工事・作業については、複数箇所を同時並行で進める場合もある、と想定しています。
4	P. 1	入札説明書 3. 競争入札に付する事項	(5)引渡期限、(6)業務完了期限、(7)履行期間から遅延した場合、受注者に対して遅延ペナルティ(例: 契約金額xx% X 契約金額/週)が課せられるのでしょうか？	入札説明書P. 5の16 (3)にある「機材調達契約約款」< <a href="https://www.jica.go.jp/about/announce/manual/form/oversea/n_files/1201049_009.pdf">https://www.jica.go.jp/about/announce/manual/form/oversea/n_files/1201049_009.pdf</a> >の第12条で定めております。
5	P. 21	技師派遣条件書 8. 安全対策措置等 (4)	現地ウクライナの技師を派遣するため、記載されている海外旅行保険の付保は難しい状況ですが、よろしいでしょうか？ もし、他に付保が必要な保険がございましたら、条件等をご教示頂きたくお願いいたします。	今回の業務における技師派遣については、P. 20の「3 技師の資格」に記載の通り、「ウクライナ国内人材であること」として、国外の技師をウクライナに派遣することは想定していません。その理由は、ご指摘の通り、ウクライナ国外から同国への渡航に際して海外旅行保険の付保が難しい、ことも理由の一つです。「8. 安全対策措置等」の記載内容は、国外の技師を仕向け地に派遣する場合の想定ですので、今回の業務においては、適用を求めません。
6	P. 1	(5) 引渡期限 (6) 業務完了期限 (7) 履行期間	(5) (6) は、2024年1月31日、(7) は、2024年2月29日となっておりますが、それぞれの期限の意味合いを明確にして貰えませんか？	通常、「引渡期限」は発注者が指定する納入先に機材を納入する期限、「業務完了期限」は据付工事などを伴う場合に工事を了し、業務完了報告書を提出する期限、「履行期間」は受注者がすべての契約業務を完了する期間としています。今回の対象機材では、各仕向地への納品と据付工事が並行して進む可能性があると考えられるため、「引渡期限」と「業務完了期限」を同一日にしています。
7	P. 9, P. 20	9P 総則 6. 及び、20P 技師派遣条件書 2. 業務内容 (1) (2)	本入札は、本体機材を据付するための電気、配管及び基礎工事、及びそれにともなう配管、ケーブルなどの部材 (消耗品) 調達、及び、各工事、据付業務、試運転、動作検証、操作・保守指導の為に技師派遣を全てともなうものでしょうか？	P. 23～P. 25にも記載の通り、全ての業務を含むものとして、応札額の算出をお願いいたします。
8	P. 9	9P 総則 9.	機材引き渡し後の保証を1年間付すこととあるが、定期メンテナンス、もしくはヒートポンプなので、省エネ効果の測定などは必要ありませんでしょうか？	本契約業務としての定期メンテナンスと省エネ効果の測定を求めます。定期メンテナンスは必要が生じた際に受注者が実施します。省エネ効果の測定はJICA雇用のコンサルタントが評価できるように必要なデータの提供を求めます。なお、データの測定頻度は最低でも月に一回とし、より頻回なデータ収集をメーカーが推奨する場合はその回数を可とします。いずれも保証期間内に実施することとします。
9	P. 9	1. Air Source Heat Pump Water Heater	Specificationについて、16kw以上の暖房能力と記載されていますが、各幼稚園のあるウクライナの北の方では、外気温が-10℃以下になります。その場合も16kw以上の能力が必要でしょうか？	-10℃以下の環境下でも16kw以上の暖房能力を求めます。
10	P. 26	Kindergarten 01 (Kalinka)	他4カ所の幼稚園と違って、同幼稚園のヒートポンプの用途は、温水プールとありますが、その場合、現地側の水質基準等に従って、フィルターの設置などにも必要になるのでしょうか？	温水の供給のみを対象とし、水質基準の確保については幼稚園側の責任とします。
11	P. 27～P. 50	Kindergarten 01- 05	現場写真有難うございます。ただ写真を見る限り、既に暖房機器として、ガスボイラーや木炭ボイラーが設置されている幼稚園ありますが、これらの既設置済みの暖房機器とヒートポンプは併設になるのでしょうか？	併設の予定です。